

September

9月号

マークデザイン 加藤昌男



本の森



篠山市立中央図書館通信 No. 148 2017年9月1日発行

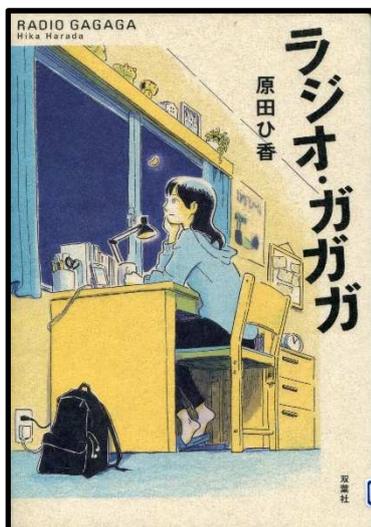
今月の特集

エンター テインメント

“感動”すると心が豊かになり、
時間が経つのも忘れてしまいます。
やすらぎ音楽、壮大な芸術と映画、
にぎやかな演芸と演劇、そして文学。
〇〇の秋、という言葉がありますが
が、秋の夜長をたっぷりと楽しめる
娯楽を探してみたいはいかがですか？

『ラジオ・ガガガ』

原田 ひ香 著 双葉社 Fハラ



日本でラジオ放送が始まったのは1925年。ダイヤルを回して周波数を合わせていたラジオも、今ではアプリを使えば全国の放送を聴くことが出来るようになり、娯楽の一つとして楽しむ方も多いのではないのでしょうか。

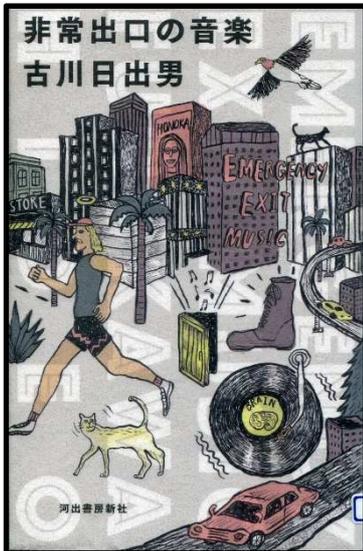
本書は実在するラジオ番組に耳を傾ける人々の、ひたむきに生きる姿を描いた6つの短編集です。ケアハウスに入居した女性は深夜ラジオに癒され、海外で夢破れた男性はラジオから流れる歌に涙して、思春期の女の子はラジオの電話相談室で勇気をもらって…。さまざまな人々が、ラジオに泣かされ笑わされ、そっと救われて少し前へと歩みだします。

テレビやインターネットが普及した今でも、ラジオは人々を支えるかのように生活に寄り添っています。ふとした時に耳を傾けてみると楽しい世界が広がるかもしれません。ラジオを聴きながら読んでみたくなる一冊です。 (石丸)

文学の棚から

『非常出口の音楽』

古川 日出夫 著 河出書房新社 Fフル



大阪の市街地と北海道の釧路湿原の片隅に、突然出現した同じ形状の扉。まったくの同じ扉は、北海道ではある種の奇抜なモニュメントと判断するにとどまっている。いっぽう大阪では、その扉の出現が多くの人を巻き込む大事件となる。宙から音楽が鳴り、それぞれの扉が開かれる。そのときそれぞれの扉で起こったことは…。

この本では、25のショートストーリーが、小さな祝福の瞬間を届けてくれます。不思議な音に導かれ、森に入るおじいさんとおばあさん、ママのバイクから落ちこちた少年の、1年間のサバイバル、人がいっさい消えた世界で進化する猫たち。

著者はあとがきにて「人には、ときに非常出口が必要だ、と、そのことだけを語ろうとしている。」と記しています。この本を読んだ後、その時あなたのそばにも非常出口が現れるかもしれません。非常出口が現れる瞬間、小さな喜びが、心にやわらかく残るような一冊となっています。(松本)

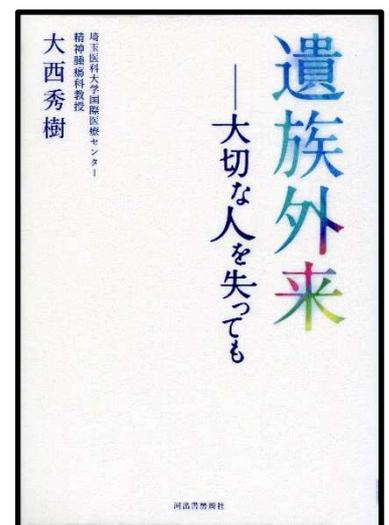
『遺族外来 — 大切な人を失っても』

大西 秀樹 著 河出書房新社 490.14 円

一般書の棚から

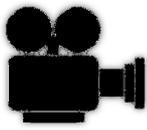
がんによる心のつらさを和らげる医療分野を、精神腫瘍学^{しゅようがく}（サイコオンコロジー）といいます。そして精神腫瘍科では、がん患者や家族の心のケアを行っています。著者は、埼玉医科大学国際医療センターの精神腫瘍医ですが、この医療センターでは全国初の「遺族外来」を設置しました。

日常生活にストレスはつきものですが、なかでも死別は最も大きなストレスの1つです。遺族に対して周りの人は「がんばってね」「元気?」「落ち着いた?」などの言葉をかけます。ごく一般的なことだと思いますが、実はそれらは『言ってはいけない言葉』だそうです。この本には、遺族の援助で悩む人に少しでも役に立てば、という著者の思いが込められています。(杉野)



■ 篠山市立中央図書館(篠山市西吹 88-1) TEL 079-590-1301/FAX 079-594-5450

ホームページ <http://edu.city.sasayama.hyogo.jp/c-library/>



映画上映会のお知らせ



「パーフェクト ストーム」
 2000年・アメリカ 130分・吹き替え
 ■監督 ウォルフガング ペーターゼン
 ■出演 ジョージ クルーニー 他
 ■日時 9月15日(金) 14:00~16:10
 9月16日(土) 15:00~17:10
 ■場所 中央図書館 視聴覚ホール

入場無料
申し込み不要



図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4 休館日	5	6	7 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	8	9 ←
10 篠山だけ 図書館の日	11 休館日	12	13	14 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	15 映画上映会	16 映画上映会
17	18 図書コーナー 休館日	19 休館日	20	21 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	22	23 図書コーナー 休館日
兵庫県ホッケー協会 写真展 (9/9 ~ 9/20)						
24	25 休館日	26	27	28 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	29	30

図書館からのお願い！

■図書館資料の返却忘れはないですか？

「借りていたが、随分期間が経って返すのを忘れていた」「なんだか時間に追われ、いつの間にやら返さずに今に至っている」…。なんていう方はいらっしゃいませんか？

でも、返ってきていないその本を予約されている方や、読みたい方がいらっしゃるのです。返却期限は必ず守っていただき、皆さまが気持ちよくご利用いただけるよう、ご協力をお願いします。また、返却期限が過ぎている場合、図書館から電話や文書での督促をさせていただくことがあります。

■図書館資料の取り扱いについて

図書館の資料は、市民みなさまの貴重な財産です。下記のような行為はしないで、丁寧に取り扱っていただきますようお願いいたします。

- ・落書きをしたり書き込んだりしない。
- ・ページを切り取ったり折ったりしない。
- ・雨や飲み物などで濡らさない。
- ・食べ物などで汚さない。
- ・資料そのものを無断で図書館から持ち出さない。

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



広場

9月は「実りの秋」と言いますが、お米も秋の味覚のひとつですね。

篠山市では8月18日、漢字で書くと八十八、米という字になる日に「丹波篠山コシヒカリ宣言」を発表しました。

市内でも、黄金色の稲穂が収穫期を迎えています。「新米」と聞くと、ちょっとウキウキします。それだけでご馳走ですが、それに合わせて、おいしいものをいっぱい食べたいですね。

館長 赤井 毅彦

HIROBA

■篠山市民センター図書コーナー（篠山市黒岡 191）TEL 079-552-0394

開館時間 10:00～18:00（日曜日は 17:00 まで）

※職員は 12:00～15:00（土・日曜日は 13:00～15:00）の間、駐在

